



2020年5月14日

各位

上場会社名 株式会社マミーMarkt
 代表者 代表取締役社長 岩崎 裕文
 (コード番号 9823)
 問合せ責任者 財務部長 岩本 潤
 (TEL 048 - 654 - 2514)

特別損失の計上及び第2四半期連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は2020年9月期の第2四半期におきまして特別損失を計上するとともに、2019年11月14日に公表した2020年9月期の第2四半期累計期間の連結業績予想と実績に差異が生じたことを下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

当社は、保有する投資有価証券につきましては、簿価に比べて実質価格の騰落率が30%以上に達した際、特別損失(投資有価証券評価損)を計上することとしております。

今般この投資有価証券評価基準に基づき評価を実施した結果、1銘柄が基準に抵触することとなったため、減損処理による投資有価証券評価損として76百万円を計上するものであります。

2. 連結業績予想数値と実績との差異について

2020年9月期第2四半期(累計)連結業績予想と実績との差異(2019年10月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	57,000	900	1,150	730	67.62
今回実績(B)	58,833	1,827	2,039	1,276	119.56
増減額(B-A)	1,833	927	889	546	
増減率(%)	3.2	103.0	77.3	74.9	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2019年9月期第2四半期)	54,973	1,275	1,496	962	89.14

差異の理由

消費税増税後の影響を見据えた販売促進対策の強化や、新型コロナウイルス感染症拡大による内食需要の高まり等により、売上高が大きく増加した一方で、販売費及び一般管理費の増加が緩やかであったため、利益面でも予想を超えました。株式市場の下落により、減損損失を計上することとなりましたが、予想数値を上回ることとなりました。

以上